

令和7年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	総務部
日 時	令和7年(2025年)4月21日(月) 16:30~17:17
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、東副知事、岸本副知事、知事公室長、総合企画部長 部長、次長、管理監(人材育成担当)、管理監(健康経営・税制・財産活用担当)、総務課長、人事課長、人事課行幸啓室長、行政経営推進課長、総務事務・厚生課長、財政課長、財政課財産活用推進室長、税政課長、税政課地方税徴収対策室長、市町振興課長、びわこボートレース局長

発言者	発言概要
総合企画部長	自治のあり方の研究について、首長と話していると、町では特定の所属に業務が集中していたり、職員が退職して経験が蓄積されにくいなど大変な状況と聞く。ここに県として、また関西広域連合を含めた全体の中でどのように関わっていくのかという点について検討の方向性があるか。
市町振興課長	方向性と言えるほど明確なものは現時点では持ち合わせていないが、どのように協力してやっていけるかというところは、市町の意見をお聴きしていきたい。 市町同士の連携だけではなく、県と市町の連携も踏まえながら、それぞれの市町でどういうあり方が良いのかということなどが議論できればと思っている。
総合企画部長	市町のご意見を聴くことも大事だが、何かあったら言って欲しいだけではない意見の聴き方にも工夫が必要だと感じる。 外国人住民の意見反映について、どのようにどう聴くのかとか、日本語で良いのかとかの検討が必要になってくると感じるが何か考えはあるか。
市町振興課長	意見聴取の際にAIを活用して多言語化することなどが考えられる。関係課とも相談しながら、どのような方法があるのか研究したい。
知事公室長	人材育成について、昨年度策定した人材育成基本方針では、人材育成に加えて人材確保の視点も入っている。採用辞退であったり、早期に退職される職員もいることを考えると、人材育成基本方針に書いていることに加えて、新たに何かもう一歩必要ではないかと思うが、来年、再来年を見据えた新たな確保対策を何か考えているか。
人事課長	辞退される方は多くが国家公務員との併願ではあるが、今年度から民間を志望されている方にも受けてもらいやすいように、先行実施ということで早めに試験を始めようとしている。
知事公室長	市町では、県庁に就職するから辞退するという話も聞く。特に保健師などの専門職の確保の部分で困っておられると聞く。何か市町との連携の方向性はあるか。
人事課長	保健師をはじめ連携出来ることから検討していきたいと考えている。
知事	県で採用されて町で働くこともできることが滋賀県の志望理由にもなるような検討をしていきたい。
東副知事	兼業制度の浸透についてどのように考えているのか。
人事課長	制度の基準等について周知を図った上で、兼業制度が地域貢献等に繋がっていくような検討が出来ればと考えている。
東副知事	持続可能な財政基盤の確立について、税収が増えている中だからこそ、将来の見通しをしっかりと持っておき、将来的な財政構造をしっかりと把握しておくべき。
財政課長	近年は税収が好調な中で一定の投資もできてきたが、特に、人件費や公債費といった義務的経費が今後どうなっていくかという点は、しっかりと状況を見て分析していきたい。

東副知事	税収は波があり、施設を整備すればランニングコストも掛かってくるし、これらを含めて将来を見据えていく必要があるので、この時期にやっておいて欲しい。 県庁舎については、管理機能や執務環境も重要だが、これからの働き方も見据えて、もう少しコンパクトにやっていくような要素も考えて欲しい。
岸本副知事	時間外勤務の縮減の取組について、時間外勤務を減らすという明確な目標から一歩進んで、業務等をもっと効率的にこうしたらどうかとか、こういう仕事を止めたらどうかとかまで言えると良いのではないかな。
行政経営推進課長	取組の中で良いと思ったものについては、全庁的に紹介するなど、さらなるアプローチを考えていきたい。
岸本副知事	ボートレースに関して、依存症対策をやっているということをしっかりと強調していただきたい。
びわこボートレース局長	地道な取組については、これまでから継続的に実施してきている。例えば、呼びかけやテロップ表示を行い、相談窓口も設けている。
知事	ギャンブル依存症対策に関しては、県が運営している唯一のボートレース場として、業界団体だけに依存せずにやっていけることがあるのか考えていこう。
知事	総務部には、パーパスの具現化のために環境を整えるという意味でも大事な部署であり、不易の取組も多く存在している。 不易の取組がきちんとできるように、皆で意を用いていきたい。 そのような中であって、今年度は業務の見直しに徹底的に取り組むこととしたい。
知事	公印の関係では、どれぐらい職員の手間が掛かっているのか協議したい。 税の関係では、問題があれば、改善、寄り添いのチャンスと捉えて、滞納を福祉と繋ぐ、さらにデジタルを含めて納税環境を整えて欲しい。 市町の振興では、今年度、19市町すべてを訪問して、市長・町長と懇談をしたい。 メンタルヘルス対策については、ターゲットごとにアウトリーチでアプローチするような、マイナスをプラスに変えられるような滋賀県らしい知恵のある取組を考えていって欲しい。
知事	あらゆる事業にジェンダーの視点を入れていきたい。男性が気後れすることにならないような旗振りを全庁挙げてやっていこうと思う。多様なきところに革新なし。